

# 発展会計リリースのご案内

2026年2月2日

日本ビズアップ株式会社

## 1. 生成AI自動仕訳 機能追加

- ScanSnap 連携
- 複数ファイルの取込
- 画像ファイルの読み取り対応

詳細はヘルプページの手順書をご参照ください。

URL : <https://www.help-bizup.jp/f10/10011035/>

## 2. 【新機能】 AI業績分析 ※有償オプション

# 1. 生成AI自動仕訳 機能追加

生成AI自動仕訳 Gemini検証

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

生成AI自動仕訳 2024年4月～3月

証憑ファイル種類

領収書/レシート  預金通帳  出納帳 西暦 年 月

クレジットカード明細  指定日で計上  明細の取引日で計上

5/01/31

証憑ファイル指定

画面にPDFファイルをドロップ  
または、 **ファイル選択** (複数ファイル指定可)  
もしくは、 **ScanSnap連携**  
領収書/レシートの場合は、画像もアップロードできます。

クリア

ScanSnap連携を行う場合は、ヘルプの手順書に従って「ScanSnap Home」と「発展Scan for ScanSnap Home」をインストールしてください。

F1 ヘルプ F8 実行 F12 終了

ScanSnap連携機能を実装しました。  
詳細はヘルプの手順書を参照ください。  
領収書/レシートの画像取込にも対応しました。

一度に複数ファイルをアップロード、自動仕訳ができるようになりました。

※ScanSnap連携については Mac 未対応です

# 2. AI業績分析

## 内容

業績管理レポートにAI業績分析機能を追加しました。

AI業績分析は、業績管理レポートを生成AIが分析・評価したレポートを閲覧・ダウンロードできる機能です。

企業登録画面で「AI業績分析 簡易」または「AI業績分析 フル」のオプションをONにする事で使用可能となります。

企業登録画面のスクリーンショット。右側の「オプション」欄に「AI業績分析 簡易」と「AI業績分析 フル」がチェックされている。

支払管理	≦ 92 (100 - 8)	建設業会計	≦ 98 (100 - 2)
BANK	≦ 90 (100 - 10)	ストレージ	≦ 29943 (3000...)
SCARU連携	≦ 29943 (3000...)	自動監査	≦ 82 (100 - 18)
exaflow連携	≦ 30000 (3000...)	年度計画	≦ 89 (100 - 11)
AI-BANK	≦ 90 (100 - 10)	デジタル納税	≦ 100 (100 - 0)
MONEY	≦ 80 (100 - 10)		
別用データ取込	≦ 3 (3 - 0)		
業績管理レポート	≦ 987 (1000...)		
AI業績分析 簡易	≦ 995 (1000...)		
AI業績分析 フル	≦ 1000 (100...)		
Gemini自動仕訳			

業績管理レポート画面のスクリーンショット。下部のナビゲーションバーに「F5 AI分析」ボタンが赤い枠で囲われている。

F5	F6	F7	F1	F12
ヘルプ	AI分析	DF出力	条件設定	ヘルプ
				終了





# 2. AI業績分析 業績概要、主要指標サマリー

発展会計業績管理レポート AI分析サマリー  
～今年業績の全体像を把握し、次期に向けた戦略を検討するために～

2024年01月～2024年12月 ～個人一般～  
(分析期間: 2024年01月～2024年12月)

業績概要

業績トレンドと見通し | 収益構造のポイント | 財務体質の安定性

キャッシュフローの状況 | 経営課題 | 重要経営アクション

主要指標サマリー

売上高	5,472千円	経常利益	1,817千円	限界利益率	72.9%
営業キャッシュフロー	0.8千円	損益分岐点比率	54.5%	ROA (総資本経常利益率)	17.6%

発展会計業績管理レポート AI分析サマリー  
～今年業績の全体像を把握し、次期に向けた戦略を検討するために～

2024年01月～2024年12月 ～個人一般～  
(分析期間: 2024年01月～2024年12月)

業績概要

業績トレンドと見通し | 収益構造のポイント | 財務体質の安定性

業績トレンドと見通し

会社全体の実力値は、地方の路線バスが急ブレーキをかける、**するすと坂道を下り始めた**ような状態です。季節変動を除いた「**年間の売上**」トレンドは、この一年で**約6%減少**しており、事業は**明確な衰退期へと舵が切**られています。お客様からの支持（売上高）が遠くで、さらに深刻なのは**会社の体力（粗利）が13%以上も薄**くなっている点です。これは、値引き競争や仕入れコストの上昇など、**収益構造の悪化**が進行している証拠です。同時に、削減すべき**経費（固定費）は逆に17%も増**大しており、**利益の減少を加速**させています。この収益性の悪化は**コスト増のダブルパンチ**の結果、最終的な**経常利益（経常利益）は前年比で約45%も減少**しています。

収益構造のポイント

社長が汗を流して売った商品やサービスの価値は、非常に高いです。売上から材料費などを引いた手残りは、驚異の**約73%**あります。これほど高い収益構造は大きな強みです。しかし、今年は人件費以外の**固定な経費が前年比で約145%に急増**し、せっかく稼いだ粗利を食いつぶしています。「売上はそれほど変わらないのに、なぜ利益が減ったのか」という実感は、この**固定費の急増**が原因です。ただし、会社の土台は極めて強固です。今の儲かる仕組みであれば、万が一、売上が半分近くまで落ち込んでも赤字にはなりません。損益分岐点比率は**54.5%**で、経営安全率も**45.5%**という、**極めて安定した水準**にあります。これは、急な市場の変化や取引先の離

財務体質の安定性

会社の財務体質は、残念ながら「**脆弱体質**」の領域にあります。自己資本比率が0.0%というデータは、会社を支える自分の筋力がなく、**借入依存度が極めて高い**状態を示しています。この構造は、わずかな環境変化にも耐えられない**脆弱な体力**を意味します。現在、手元の貯金（現預金0.8百万円）に対し、借入金が約7.5百万円と重く、資金力は**マイナス6.7百万円**です。これは、月収で住宅ローンの返済に追われ、**預金通帳を見るたびに借金の返済日が頭をよぎる**ような、常に胃の痛む状態です。実質無借金経営には程遠い状況が続いています。今期の営業活動では**0.8百万円**のキャッシュを稼ぎ出していますが、借入返済などの財務的な負担が大きく、結果

## 業績概要

主要指標サマリー

売上高	5,472千円	経常利益	1,817千円	限界利益率	72.9%
営業キャッシュフロー	0.8千円	損益分岐点比率	54.5%	ROA (総資本経常利益率)	17.6%

## 主要指標サマリー

## 2. AI業績分析 業績概要 動画再生

「業績概要」の動画再生ボタンを押下すると、各項目の業績概要を分かりやすくした動画で説明を見ることができます。

### 業績概要 動画再生

#### 発展会計業績管理レポート AI 分析サマリー

～今期業績の全体像を把握し、次期に向けた戦略を検討するために～

2024年01月～2024年12月 ～ 個人一般 ～

(分析期間: 2024年01月～2024年12月)

#### 業績概要

凡例 (文字色) 【ブルー】ポジティブ (好調・達成) 【オレンジ】ネガティブ (警告・注意) 【グリーン】改善アクション (行動・目標)

##### 業績トレンドと見直し

動画再生

会社全体の実力値は、地方のバスが急ブレーキをかけ、**ずるずると販道を下がり始めた**ような状態です。季節変動を除いた「年間の売上」トレンドは、この一年で**約6%減少**しており、事業は明確な衰退期に入っています。お客様からの支持(売上高)が遠のく中で、さらに深刻なのは会社の体力(粗利)が**13%以上も薄くなっている**点です。これは、値引き競争や仕入れコストの上昇など、収益構造の**悪化が進行**している証拠です。同時に、削減すべき経費(固定費)は逆に**17%も増大**しており、利益の減少を加速させています。この収益性の悪化とコスト増の**ダブルパンチ**の結果、最終的な利益(経常利益)は前年比で**4割以上も急減**しています。さ

##### 収益構造のポイント

動画再生

社長の汗を流して売った商品やサービスの価値は、非常に高いです。売上から材料費などを引いた手残りは、業界的に**約73%**もあります。これほど高い収益構造は大きな強みです。しかし、今年は人件費以外の固定的な経費が前年比で**約145%に急増**し、せっかく稼いだ粗利を食いつぶしています。「売上はそれほど変わらないのに、なぜ利益が減ったのか」という実感、この**固定費の急増**が原因です。ただし、会社の土台は極めて強固です。今の傾かる仕組みであれば、万が一、売上が半分近くまで落ち込んで**赤字**にはなりません。損益分岐点比率は**54.5%**で、経営安全率も**45.5%**という、**極めて安定した水準**にあります。これは、急な市場の変化や取引先の離

##### 財務体質の安定性

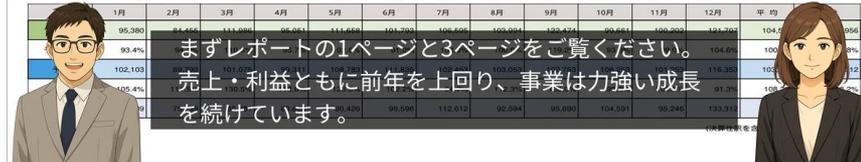
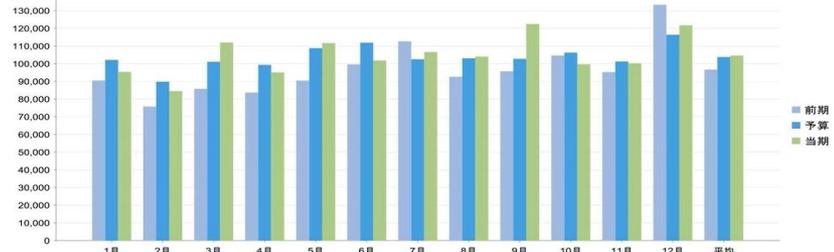
動画再生

会社の財務体質は、残念ながら「**脆弱体質**」の領域にあります。自己資本比率が0.0%というデータは、会社を支える自分の筋肉がなく、**借入依存度が極めて高い**状態を示しています。この構造は、わずかな環境変化にも耐えられない**脆弱な体力**を意味します。現在、手元の貯金(現預金0.8百万円)に対し、借入金が約7.5百万円と重く、資金力は**マイナス6.7百万円**です。これは、月収で住宅ローン残高の返済に追われ、預金通帳を見るたびに**借金の返済日が頭をよぎる**ような、常に胃の痛み状態です。実質無借金経営には程遠い状況が続いています。今期の営業活動では**0.8百万円**のキャッシュを稼ぎ出していますが、借入返済などの財務的な負担が大きく、結果

#### 01 売上高予算実績比較グラフ

当初予算

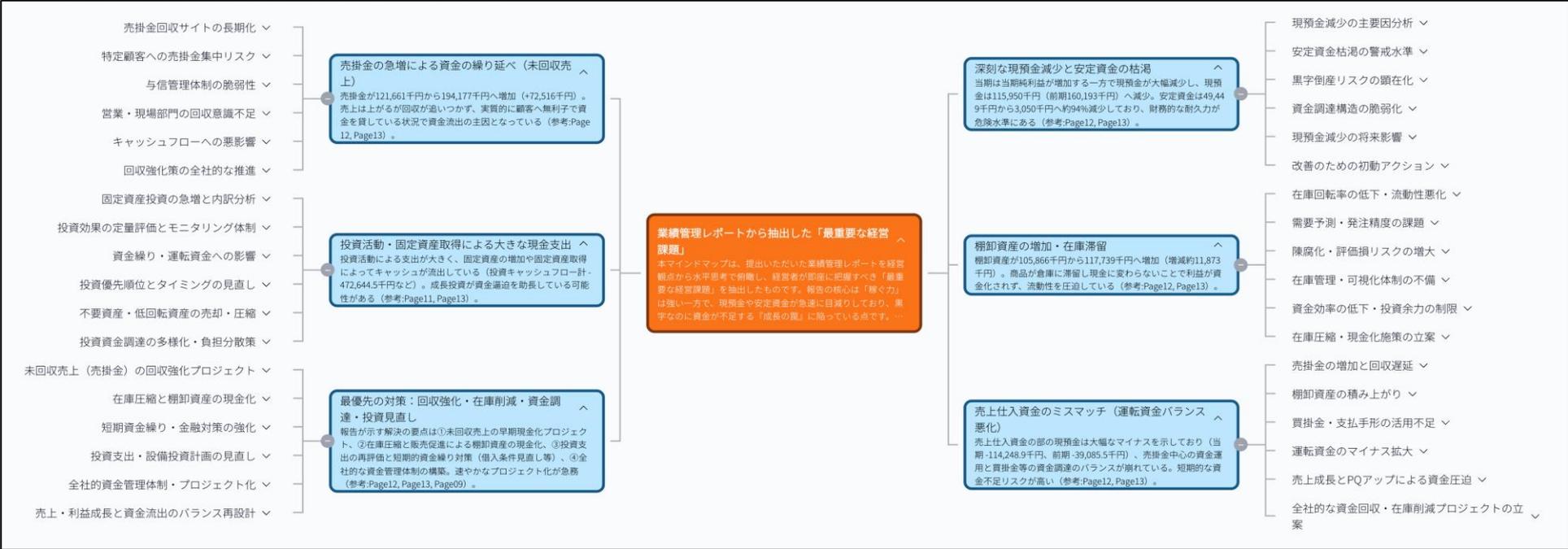
2024年01月～2024年12月



# 2. AI業績分析 マインドマップ



## マインドマップ



# 2. AI業績分析 各レポートの分析



各レポートの分析

